

## [2018 前期火 5] 統計遺伝学 I: 課題 (4 月 17 日)

Toru YOSHIYASU

2018 年 4 月 20 日

### Exercises 1-1

$M = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  と表せば、

$$\begin{pmatrix} p \\ q \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} p \\ q \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ap + bq \\ cp + dq \end{pmatrix}$$

である。 $q \neq 0$  の時、第 4 成分  $d$  は

$$d = \frac{q - cp}{q}$$

と表せる。 $q = 0$  の時、 $p \neq 0$  に注意すれば  $a = 1$  かつ  $c = 0$  と同値となり、特に第 4 成分  $d$  は任意の値をとりうる。

### Exercises 1-2

仮定より、 $M \begin{pmatrix} 4 \\ 6 \end{pmatrix} = 2M \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix} = 2 \begin{pmatrix} 4 \\ 6 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 8 \\ 12 \end{pmatrix}$  となる。

### Exercises 1-3

$E$  を  $2 \times 2$  単位行列とする。この仮定は、方程式  $(M - E) \begin{pmatrix} p \\ q \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$  が自明な解  $p = q = 0$  しか許容しないことと同値。このことは、 $M - E$  が逆行列を持たないことと同値。これが求める  $M$  の条件である。

## Exercises 2-1

$l_1$  と  $l_2$  を固有値、 $v_1$  と  $v_2$  をそれぞれの固有ベクトルとし、関数を次のように定義する。

```
matrix.desired.eigen <- function(l_1,l_2,v_1,v_2){  
  eig <- matrix(c(v_1,v_2),2,2)  
  mat <- eig %*% matrix(c(l_1,0,0,l_2),2,2) %*% solve(eig)  
  return(mat)  
}
```

## Exercises 2-2

```
> M %*% eigen(M)[[2]][,1]  
      [,1]  
[1,] 2.236068  
[2,] 4.472136  
> 5*eigen(M)[[2]][,1]  
[1] 2.236068 4.472136
```

## Exercises 2-3

`eigen` コマンドで求まる固有ベクトルたちは  $\mathbb{R}^2$  の基底をなしているので、もう一本の基底の行き先を計算すれば十分。

```
> M %*% eigen(M)[[2]][,2]  
      [,1]  
[1,]    0  
[2,]    0
```

## Exercises 2-4

$M$  の逆行列を計算すると、以下のエラーが出た。

```
> solve(M)
```

```
Error in solve.default(M) :
```

```
Lapack routine dgesv: system is exactly singular: U[2,2] = 0
```

逆行列が存在するなら、問題文にあるような逆変換が可能である。一方、Exercises 2-3 で見たように、この行列  $M$  はゼロ以外のベクトルもゼロベクトルに移すことがある。つまり、逆変換をゼロベクトルに施そうとしても、行き先が一意に定まらない。これが逆行列を求められない理由である。

## Exercises 2-5

行列  $M = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$  の固有方程式は、

$$0 = (1 - \lambda)(4 - \lambda) - 2 \cdot 3 = \lambda^2 - 5\lambda - 2 = \left(\lambda - \frac{5}{2}\right)^2 - \frac{33}{4}$$

だから、固有値は

$$\frac{5}{2} \pm \frac{\sqrt{33}}{2}$$

である。

## Exercises 2-6

行列  $M = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  の固有方程式は、

$$0 = (a - \lambda)(d - \lambda) - bc = \lambda^2 - (a + d)\lambda - bc = \left(\lambda - \frac{a + d}{2}\right)^2 - \frac{(a + d)^2}{4} + ad - bc$$

だから、固有値は

$$\frac{a + d}{2} \pm \frac{\sqrt{(a + d)^2 - 4(ad - bc)}}{2}$$

である。

## Exercises 2-7

条件式  $(a + d)^2 - 4(ad - bc) < 0$  に  $a = 1$  かつ  $b = 1$  を代入して、

$$0 > (a + d)^2 - 4(ad - bc) = (d + 1)^2 - 4(d - c)$$

となる。 $(c, d) = (-1, 1)$  はこれを満たすから、 $M = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ -1 & 1 \end{pmatrix}$  は複素数の固有値を持つ。

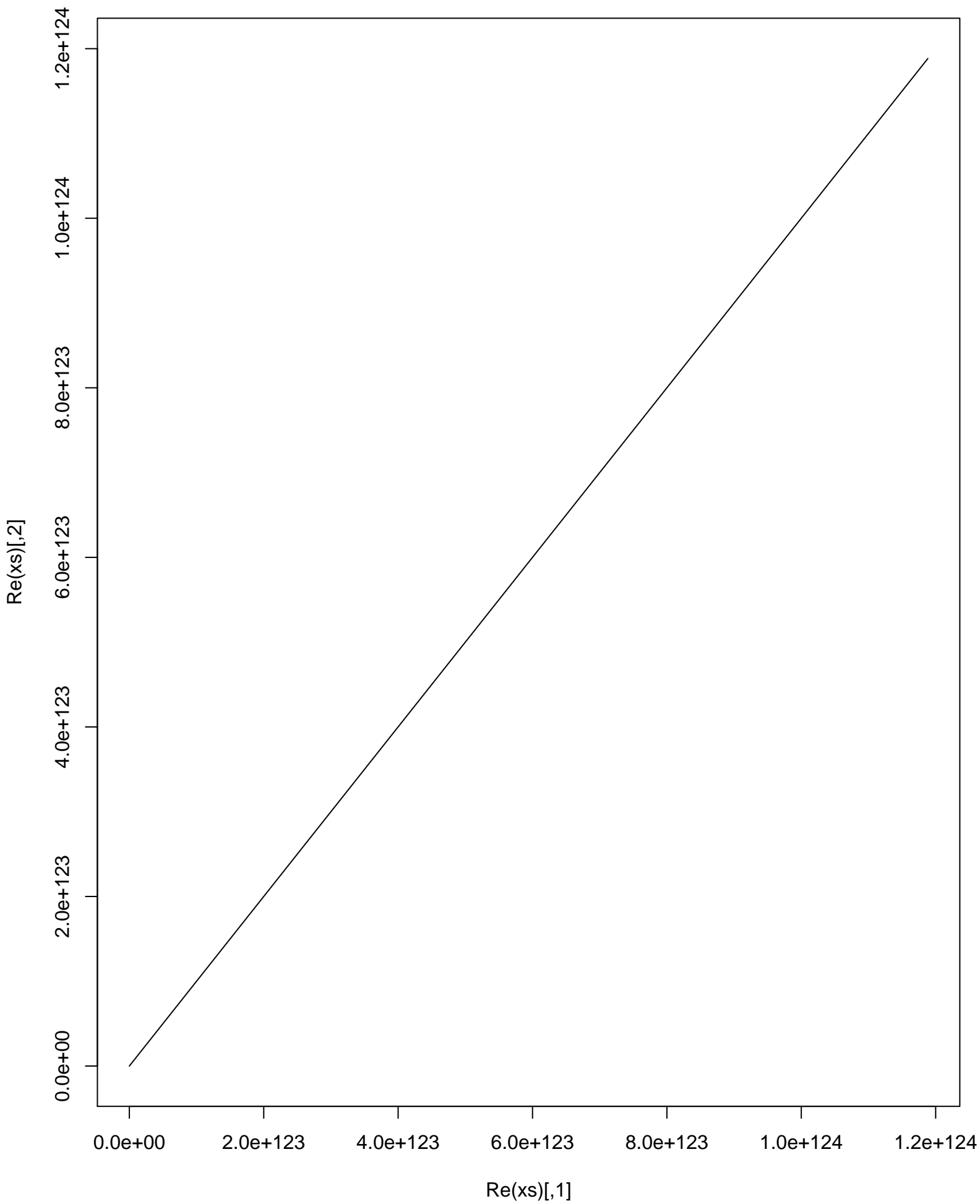
## Exercises 2-8

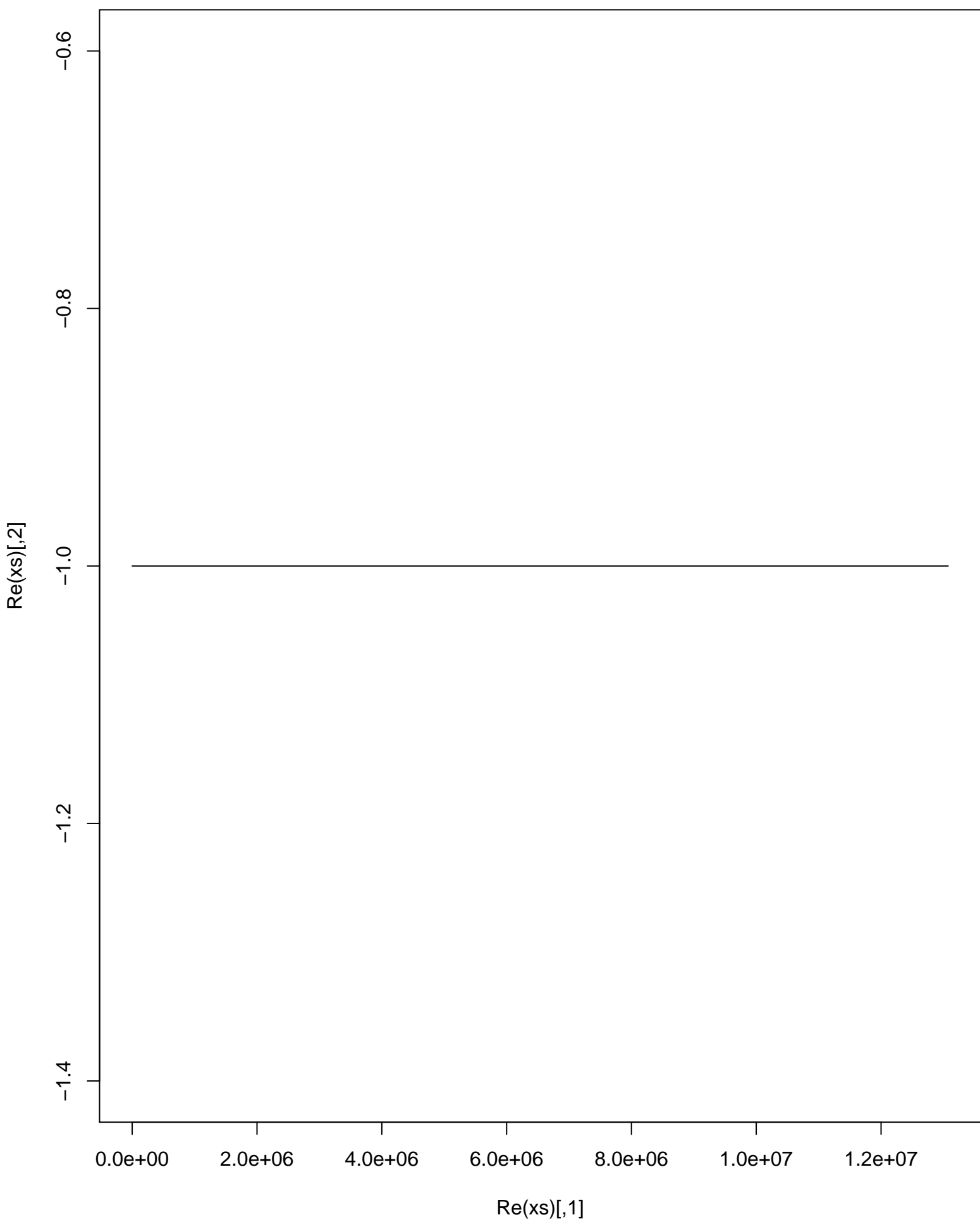
前回の課題で作成した関数

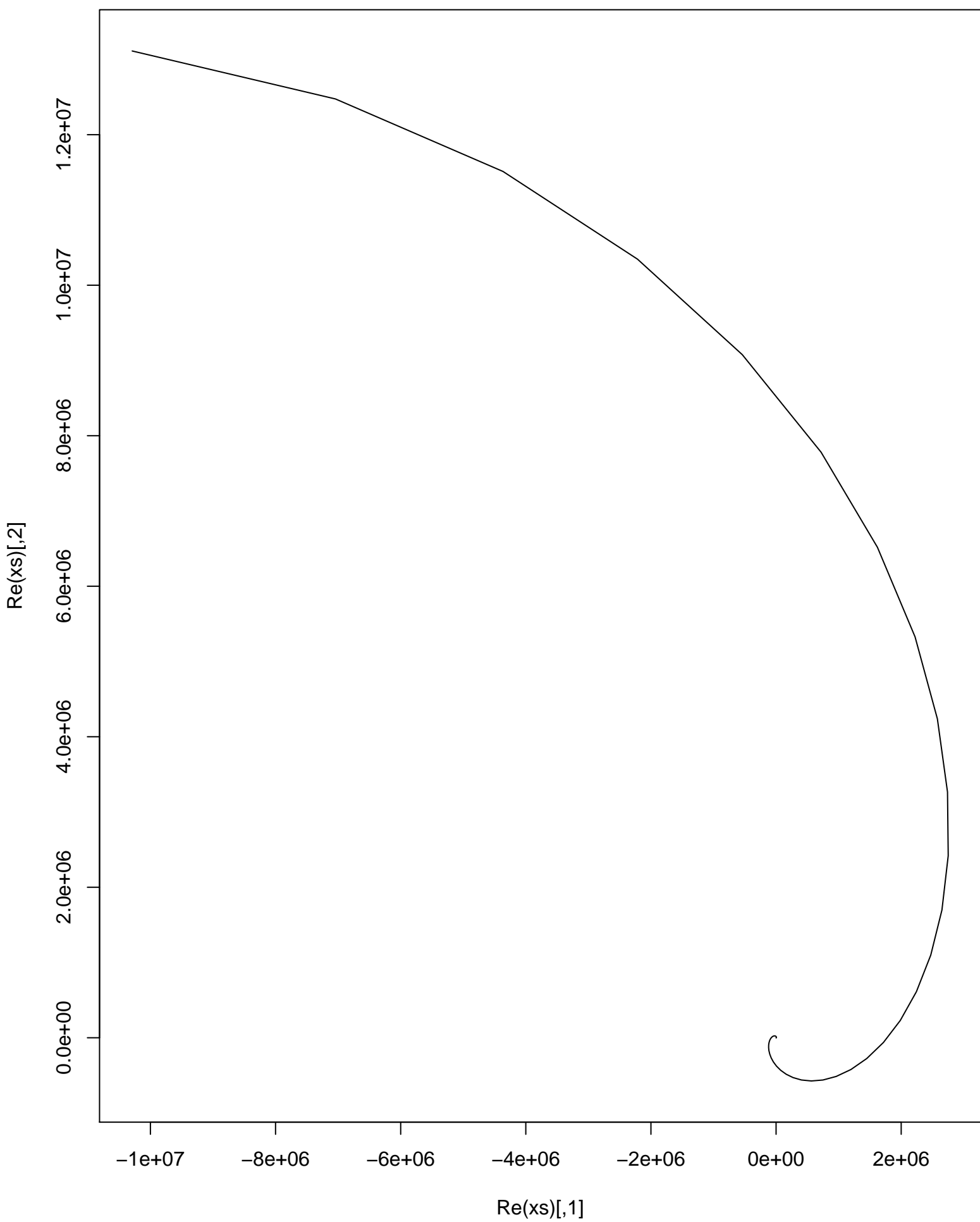
```
my.matrix.exp <- function(x,t){
  eigen.out <- eigen(x)
  s <- eigen.out[[1]]
  V <- eigen.out[[2]]
  return(V %*% diag(exp(t * s)) %*% solve(V))
}

my.exp2.plot <- function(A){
  t <- seq(from=0, to=30, length=100)
  x0 <- c(5,-1)
  xs <- matrix(0,length(t),2)
  for(i in 1:length(t)){
    xs[i,] <- my.matrix.exp(A,t[i]) %*% x0
  }
  matplot(xs,type="l")
  plot(Re(xs),type="l")
}
```

を用いる。異なる二つの 0 でない実固有値を持つものとして  $\begin{pmatrix} 5 & 4.5 \\ 4.5 & 5 \end{pmatrix}$ 、一つの固有値が 0 でもう一つの固有値が 0 でない実数となるものとして  $\begin{pmatrix} 0.5 & 0.5 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$ 、二つの固有値が複素数のものとして  $\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 1 & 1 \end{pmatrix}$  を考える。それぞれの出力結果は以下ようになった。







## Exercises 3-1

点  $(1, 2)$  を動かさないことから、この分だけ平行移動することで線型変換の部分を先に求める。 $(2, 2) \mapsto (3, 5)$  は  $(1, 0) \mapsto (2, 3)$ 、 $(1, 3) \mapsto (4, 6)$  は  $(0, 1) \mapsto (3, 4)$  と解釈されて、線型変換の部分を表す行列  $M = \begin{pmatrix} 2 & 3 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$  となる。点  $(x_1, x_2)$  が移る点  $(y_1, y_2)$  は

$$\begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 & 3 \\ 3 & 4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 - 1 \\ x_2 - 2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2x_1 + 3x_2 - 7 \\ 3x_1 + 4x_2 - 9 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2x_1 + 3x_2 \\ 3x_1 + 4x_2 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 7 \\ 9 \end{pmatrix}$$

と計算される。したがって、求めるアフィン変換の  $3 \times 3$  行列表示は  $\begin{pmatrix} 2 & 3 & -7 \\ 3 & 4 & -9 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$  である。

実際、

```
> A <- matrix(c(2,3,0,3,4,0,-7,-9,1),3,3)
```

```
> A %*% matrix(c(1,2,1),3,1)
```

```
[,1]
```

```
[1,] 1
```

```
[2,] 2
```

```
[3,] 1
```

```
> A %*% matrix(c(2,2,1),3,1)
```

```
[,1]
```

```
[1,] 3
```

```
[2,] 5
```

```
[3,] 1
```

```
> A %*% matrix(c(1,3,1),3,1)
```

```
[,1]
```

```
[1,] 4
```

```
[2,] 6
```

```
[3,] 1
```

となる。